

私の仕事 私の思い

当施設のデイケアに勤務し3年が経過しました。入職当時は何もわからず、利用者や先輩に迷惑をかけることも多くありました。今でも、利用者とかかわるたびに疑問に思うことや、私の行ったケアが本当に利用者本意のケアであったのかと考えることがあります。そのたびに先輩から助言をいただき、利用者とは話を重ねてコミュニケーションを図り、生活歴を探ることなどを通じて、少しでも「利用者の思い」に近い介護をめざし、日々勉強しています。

介護職は勤務時間が不規則なことなどから、ストレスのたまりやすい職業とされ、全国的に問題視されています。こうしたなかで私の勤務している「ほ

のぼの苑」には、職員同士や他機関との交流を目的としたさまざまなサークル活動があります。私も学生時代から趣味で続けているフットサルや、スノーボードに参加しています。このサークル活動はコミュニケーションの向上、ストレスの解消につながっています。そして今は職場の仲間とフットサルの大会に出場することが、私の目標の一つになっています。

これからも、利用者とかかわりを持つ上で疑問に思ったり考えたりすることも多くあると思います。そのたびに一人だけで悩まず、上司や同僚に相談してよりよい答えを導き出し、チームとして利用者に対するアプローチを行っていききたいと思います。



ほのぼの苑(秋田県)
介護 船木 亮

「利用者の思い」に近い介護をめざす